

(作成例)

教員個人調書

別記様式(その1)

履 歴 書					
フリガナ 氏 名	フリガナ ○ ○	性別		生年月日(年齢)	昭和 年 月 日(満 歳)
現 住 所	〒 - 神奈川県横浜市 区 丁目 番			国籍 外国籍の場合のみ	
メールアドレス	@abcd.ef.jp			電 話 番 号	012-345-6789
学 歴					
年 月	事 項				
昭和 年 4月	大学 学部 学科 入学				
昭和 年 3月	大学 学部 学科 卒業(学士)				
昭和 年 3月	大学大学院 研究科 専攻修士課程 修了(修士)				
平成 年 3月	大学大学院 研究科 専攻博士後期課程 修了(博士())				
職 歴					
年 月	事 項				
昭和 年 4月	大学 学部 学科 助手(昭和 年6月まで) 担当授業科目:○○論等				
昭和 年 7月	大学 学部 学科 講師 担当授業科目: 特別演習等				
年 月				

(作成例)

学会及び社会における活動等			
現在所属している学会		日本 学会、日本 学会、 学会	
年 月	事 項		
昭和 年 月 昭和 年 月 年 月	日本 学会会員（現在に至る） 全国 協議会会員（平成 年 月まで）		
賞罰・処分歴等			
年 月	事 項		
平成 年 月 年 月 年 月	日本 学会 賞 受賞		
備 考			
年 月	事 項		
平成 年 月 平成 年 月 年 月	育児休業開始 育児休業終了		
本書類の記載内容については事実に相違なく、虚偽の記載があった場合には、採用取消や懲戒処分等の対象となり得ることについて了承します。			
令和 年 月 日		氏名	

【記入上の注意】

賞罰・処分歴等欄には、公的機関、学会、出版社等からの表彰又は職務上の表彰や懲戒処分、研究費の不正受給に係る処分等を記入すること。なお、過去に学生に対するセクシュアルハラスメントを含む性暴力等を原因として懲戒処分若しくは分限処分を受けた場合には、処分の内容及びその具体的な事由を必ず記入すること。

(作成例)

教員個人調書(履歴書)の作成について

1. 「氏名」の欄について、旧姓等の通称名を使用している場合は()書きで本名を併記してください。
(記載例：通称名が山田太郎、本名が田中太郎の場合・・・【山田(田中)太郎】)

2. 「生年月日(年齢)」の欄の年齢には、当該採用・昇任時における満年齢を記入してください。

3. 「学歴」の欄について

大学若しくは高等専門学校又はこれらと同等以上と認められる学校卒業以上の学歴(大学の別科及び専攻科を含む)を有する場合、全ての学歴(授与された学位及び称号を含む)を記入し、それ以外の場合には、最終学歴を記入してください。なお、博士課程において所定の単位を取得し博士の学位を授与されないまま退学した場合には、「博士課程単位取得後退学」と記入してください。なお、学位の専攻分野については、授与された時期によって表記が異なりますので、正確に記入してください。学位については、付記された専攻分野の名称及び学位論文の題目を併記してください。

医師、歯科医師、薬剤師、看護師、教員等の資格についても記入してください。この場合、登録番号等も併記してください。外国における資格にあっては、正確に記入するとともに、その資格の内容を日本語で併記してください。

学生としての外国の大学や研究機関等への留学歴についても記入してください。

外国の大学等の経歴を記載する場合は、大学等の名称や学位等はアルファベットと片仮名を併記し、国名を必ず記載してください。職歴についても同様に扱ってください。

4. 「職歴」の欄について

全ての職歴(自営業、主婦、無職等を含む)を記入するとともに、職名、職位等についても明記してください。

各職歴について在職期間を明確にし、現職については「現在に至る」と記入してください。

研究者としての外国の大学や研究機関等への留学歴についても記入してください。

過去に大学設置・学校法人審議会(旧大学設置審議会を含む)で教員審査を受け、教員の資格があると認められた場合には、当該審査の時期、大学の名称、職位及び担当授業科目の名称(大学院にあっては、判定結果を含む)を記入してください。また、過去に高等専門学校の教員資格の認定を受けた場合には、当該認定の時期、高等専門学校の名称、職位及び担当授業科目の名称を記入してください。大学教員の職歴については、主な担当授業科目を併記してください。

外国での職歴等を記載する場合はアルファベットとカタカナを併記してください。

5. 「学会及び社会における活動等」の欄について

「現在所属している学会」には、履歴書作成時において所属する学会の名称を記入してください。

学会及び社会における活動等のうち、専攻や研究分野等に関連する事項を記入してください。

教育研究上の業績を有する場合、その内容を具体的に記入してください。

6. 「賞罰・処分歴等」の欄には、公的機関、学会、出版社等からの表彰又は職務上の表彰や懲戒処分、研究費の不正受給に係る処分等を記入してください。なお、過去に学生に対するセクシュアルハラスメントを含む性暴力等を原因として懲戒処分若しくは分限処分を受けた場合には、処分の内容及びその具体的な事由を必ず記入してください。
7. 「備考」の欄には、産前・産後休暇、育児休業および介護休業等を取得した期間について考慮を希望する場合に記入してください。(性別は問いません。)